

平成21年度

# 決算説明資料

株式会社 沖縄銀行

## 【 目 次 】

<b>I. 平成21年度決算ダイジェスト</b>		
1. 損益の状況	単	1
2. 主要資産・負債の状況	単	2
3. 経費	単	5
4. 資産健全化の状況	単	6
5. 自己資本比率(国内基準)の状況	単・連	8
6. 業績予想	単・連	9
<b>II. 平成21年度決算の概況</b>		
1. 損益状況	単・連	10
2. 業務純益	単	12
3. 利鞘	単	12
4. 有価証券関係損益	単	13
5. 自己資本比率(国内基準)	単・連	13
6. ROE	単	14
<b>III. 貸出金等の状況</b>		
1. リスク管理債権の状況	単・連	15
2. 貸倒引当金等の状況	単・連	16
3. リスク管理債権に対する保全状況	単・連	16
4. 金融再生法開示債権	単・連	17
5. 金融再生法開示債権の保全状況	単・連	17
6. 引当率・保全率の状況	単・連	18
7. 自己査定結果及び債権分類(率)の状況	単	19
8. 自己査定結果と開示債権との関係	単	20
9. 業種別貸出の状況等	単	21
① 業種別貸出金	単	21
② 業種別リスク管理債権	単	22
③ 卸売・小売、建設・不動産、その他金融向けの貸出残高	単	23
④ 消費者ローン残高	単	24
⑤ 中小企業等貸出残高及び貸出比率	単	24
10. 信用保証協会保証付融資	単	24
11. 系列ノンバンク向け融資残高	単	24
12. 預金、貸出金の残高	単	24
13. 個人・法人預金の種類別内訳(平残)	単	25
<b>IV. 業績予想等</b>		
1. 平成23年3月期通期の業績予想	単	25
2. 人員と店舗の状況	単	26
3. 保有株式について	単	26
4. 不良債権について	単	26
(1) 処理損失	単	26
(2) 残高	単	27
(3) 最終処理と新規発生	単	27
(4) 債務者区分ごとの引当額と引当率	単	28
(5) 不良債権比率	単	28

## I. 平成21年度決算ダイジェスト

## 1. 損益の状況

## ➤ 概況

平成21年度の経常収益は、貸出金利息及び国債等債券売却益等は増加したものの、株式等売却益の減少等から、前年比29百万円減少の397億57百万円となりました。コア業務純益は、貸出金平残の増加に伴い貸出金利息が増加したことに加え、預金金利引下げによる預金利息の減少等により、前年比3億28百万円増加の113億47百万円となりました。経常利益は、不良債権処理額の減少に加え有価証券関係損益が改善したこと等から、前年比88億94百万円増加の133億29百万円となりました。以上の結果、当期純利益は、前年比57億4百万円増加の85億95百万円となり、経常利益・当期純利益ともに過去最高益となりました。

なお、平成22年4月22日公表の修正予想と当期実績に大幅な乖離はありません。

(単位：百万円)

	No.	21/3期	22/3期	
			実績	前年比
経常収益	1	39,786	39,757	▲29
業務粗利益	2	26,621	31,404	4,782
資金利益	3	26,999	27,602	603
役務取引等利益	4	1,854	1,570	▲283
うち信託勘定不良債権処理額	5	0	-	▲0
その他業務利益	6	▲2,232	2,230	4,463
うち国債等債券損益	7	▲2,466	1,996	4,463
経費(除く臨時処理分)	8	18,068	18,059	▲8
うち人件費	9	8,792	8,947	154
うち物件費	10	8,346	8,122	▲223
<b>コア業務純益(A)</b>	<b>11</b>	<b>11,019</b>	<b>11,347</b>	<b>328</b>
一般貸倒引当金繰入	12	▲78	-	78
<b>業務純益(B)</b>	<b>13</b>	<b>8,631</b>	<b>13,344</b>	<b>4,712</b>
臨時損益	14	▲4,196	▲14	4,182
うち株式等関係損益	15	▲2,034	210	2,245
うち不良債権処理額(臨時費用)	16	2,331	528	▲1,802
<b>経常利益</b>	<b>17</b>	<b>4,434</b>	<b>13,329</b>	<b>8,894</b>
特別損益	18	122	521	399
うち不良債権処理額(戻入益)	19	-	513	513
<b>当期純利益</b>	<b>20</b>	<b>2,890</b>	<b>8,595</b>	<b>5,704</b>

(注)不良債権処理額は、No.16不良債権処理額(臨時費用)からNo.19不良債権処理額(戻入益)を差し引いた14百万円となります。

## 《用語説明》

(A)コア業務純益

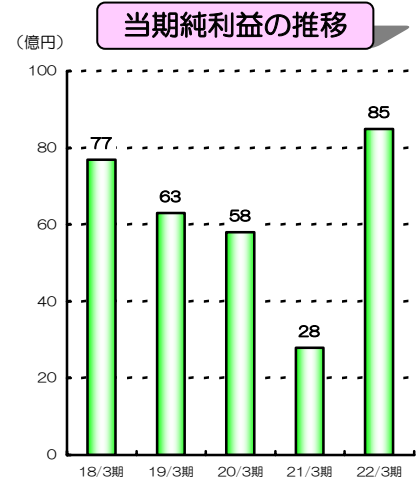
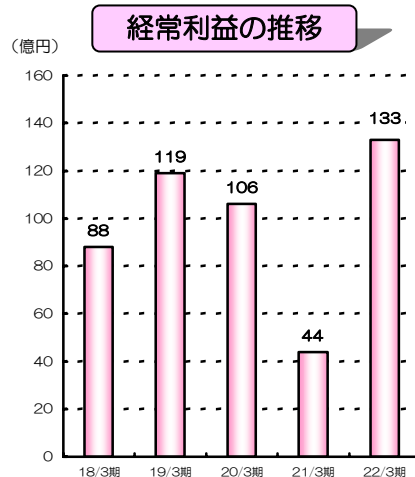
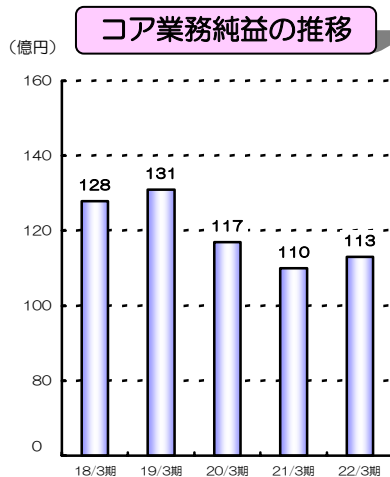
【算式】No.(2+5-7-8)

一般貸倒引当金繰入、信託勘定不良債権処理額、国債等債券損益を含まない本業の利益を表す利益

(B)業務純益

【算式】No.(2-8-12)

一般企業の営業利益に相当する利益



## 2. 主要資産・負債の状況(単体)

## (1) 貸出金

## ➤ 概況(前年度比較)

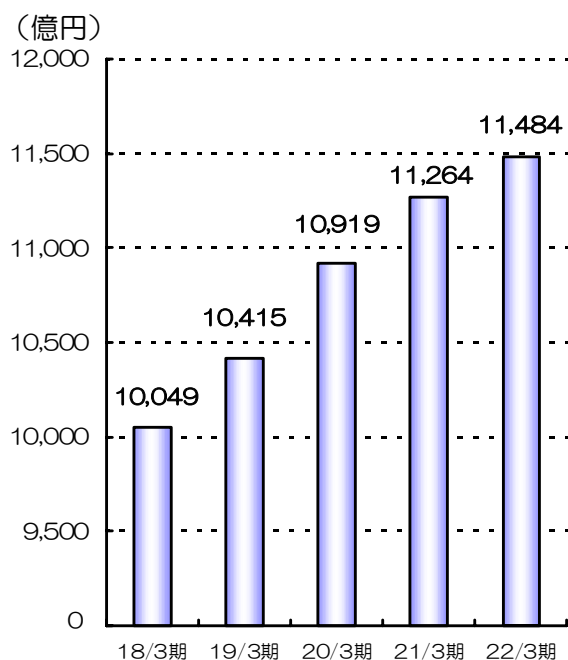
貸出金は、ローンFPステーションを中心とした営業強化により、住宅ローン及び各種個人ローンが堅調に増加したことや、地公体向け貸出の積み上げもあったことから、銀行・信託勘定合計で、前年比220億円増加の1兆1,484億円となりました。

(単位：億円)

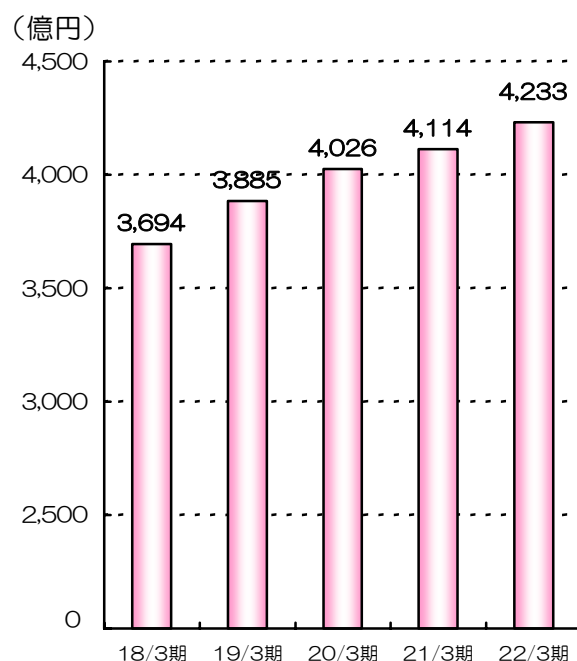
	21/3	22/3	
		実績	増減
貸出金(期末残高)	11,264	11,484	220
事業性貸出	6,019	6,007	▲12
個人向けローン	4,114	4,233	118
住宅ローン	3,551	3,658	107
国・地公体向け貸出	1,129	1,244	115
貸出金(平均残高)	10,759	11,131	371

(注) 信託勘定を含んでおります。

## 総融資量(期末残高)の推移



## 個人向けローン(期末残高)の推移



## (2) 預金

## ➤ 概況(前年度比較)

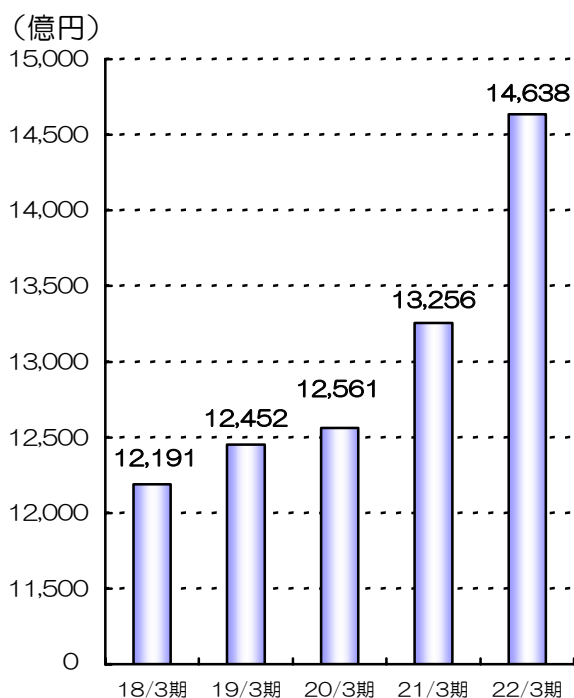
預金は、個人預金増強キャンペーンにおいて、「大口定期預金」「懸賞付定期預金(L e t 's 定期)」「宝くじ付定期預金(未来カナイ)」に加え、「(新商品)とぅしびい定期」「ATM定期」等を主力商品として個人預金の増強に努めたほか、法人預金についても「SR(ストロングリレーション)活動」に注力し、資金トレースに努めた結果、銀行・信託勘定合計で前年比 1,382 億円増加の 1 兆 4,638 億円となりました。

(単位：億円)

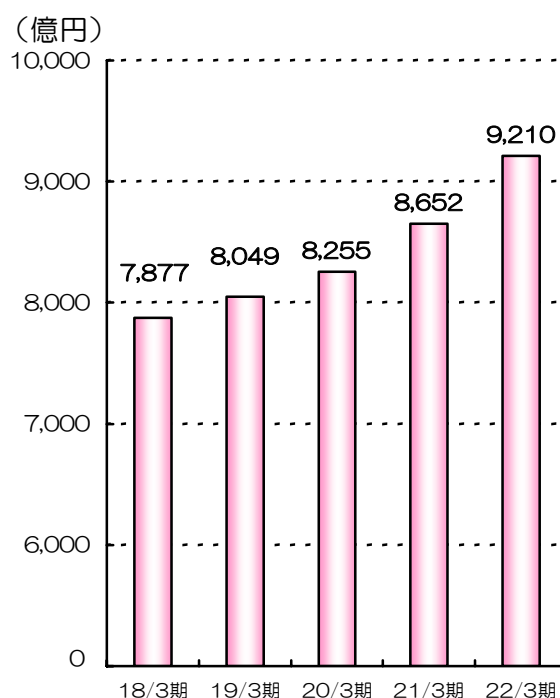
	21/3期	22/3期	
		実績	増減
預金(期末残高)	13,256	14,638	1,382
個人	8,652	9,210	557
法人	3,566	3,990	423
金融	168	311	143
公金	868	1,126	257
預金(平均残高)	12,838	14,001	1,163

(注)信託勘定を含んでおります。

総資金量(期末残高)の推移



個人預金(期末残高)の推移



## (3) 有価証券

## ➤ 概況(前年度比較)

国債、地方債など公共債を中心に資金の効率的運用と安定収益の確保に努めた結果、有価証券残高は前年比1,240億円増加の3,535億円となり、有価証券全体の評価益は前年比74億円増加の83億円となりました。

## 【期末残高】

(単位：億円)

	21/3期	22/3期	
		実績	増減
有価証券	2,295	3,535	1,240
債券	1,882	3,122	1,240
株式	220	263	43
その他	193	150	▲42

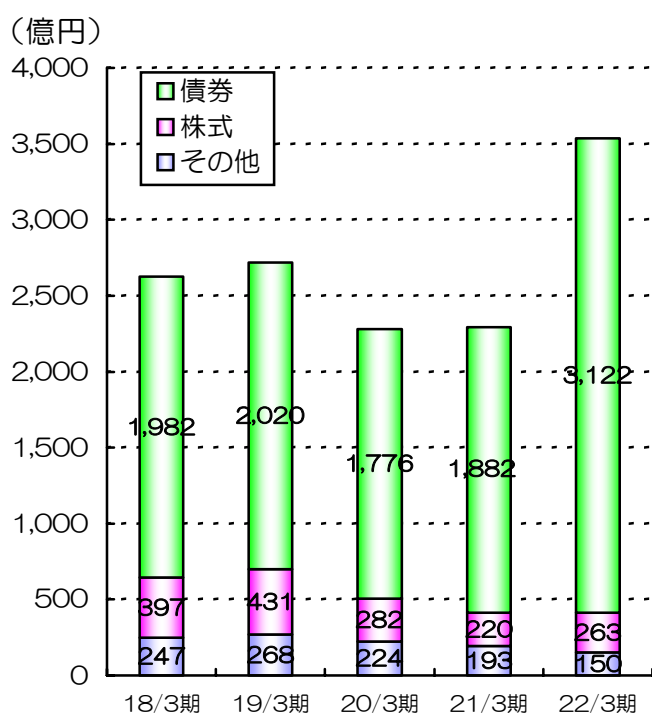
## 【評価損益】

(単位：億円)

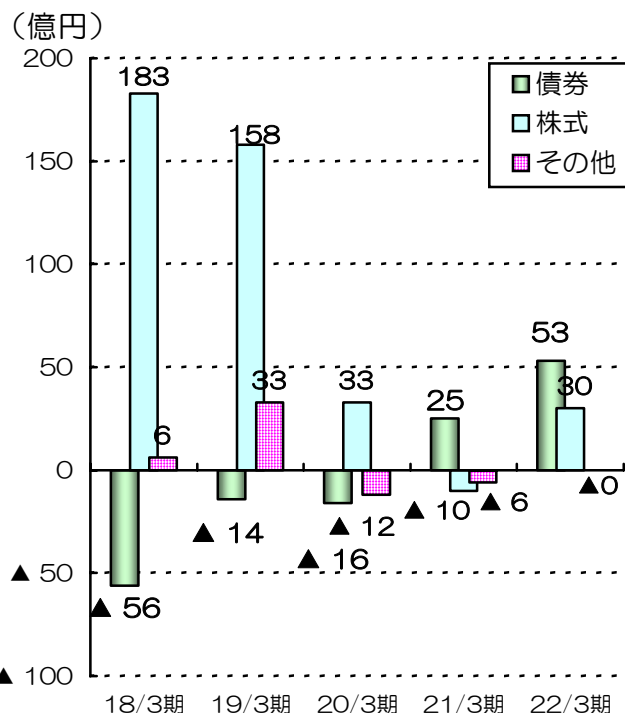
	21/3期	22/3期	
		実績	増減
有価証券	8	83	74
債券	25	53	27
株式	▲10	30	41
その他	▲6	▲0	5

(注)その他には、外国証券、投資信託が含まれます。

## 有価証券残高の推移



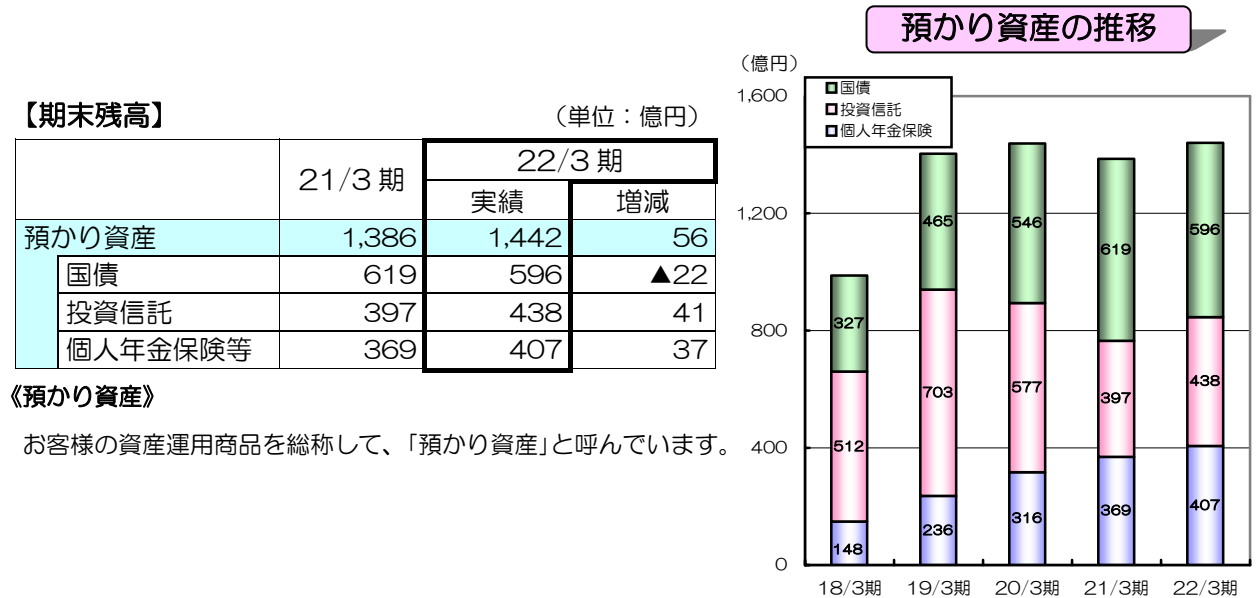
## 評価損益の推移



## (4) 預かり資産

## ➤ 概況(前年度比較)

国債は減少したものの、投資信託及び個人年金等が増加したことから、預かり資産全体では前年比56億円増加の1,442億円となりました。

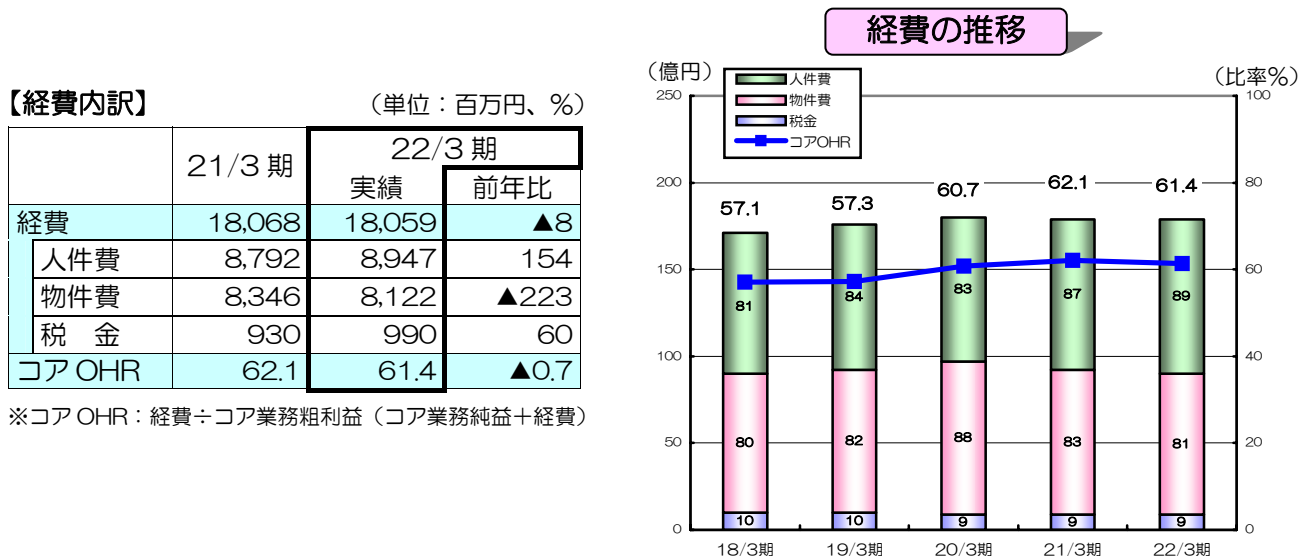


## 3. 経費(単体)

## ➤ 概況(前年度比較)

人件費は、年金資産の運用悪化により退職給付費用が増加したことに加え、定年再雇用制度によるパート職員の増加等により、前年比1億54百万円増加の89億47百万円となりました。

物件費は、機械賃借料の減少等により、前年比2億23百万円減少の81億22百万円となりました。経費効率を示すコアOHRは、経費の削減及びコア業務純益が増加したことにより、前年比0.7ポイント低下の61.4%となりました。



## 4. 資産健全化の状況

### (1) 与信費用（前年度比較）

一般貸倒引当金繰入額は、要注意先及び要管理先の実績率は低下したものの、DDSが増加したこと等から、前年比1億67百万円増加の88百万円となりました。

不良債権処理額は、大口先の償却が発生しなかったことなどから、前年比23億16百万円減少の14百万円となりました。

※DDS（デット・デット・スワップ）とは、金融支援策のひとつで、既存の貸出金を他の債権よりも劣後する「資本的劣後ローン」に転換することです。債務者の財務状態を改善して、信用力や再建可能性を高めることができます。

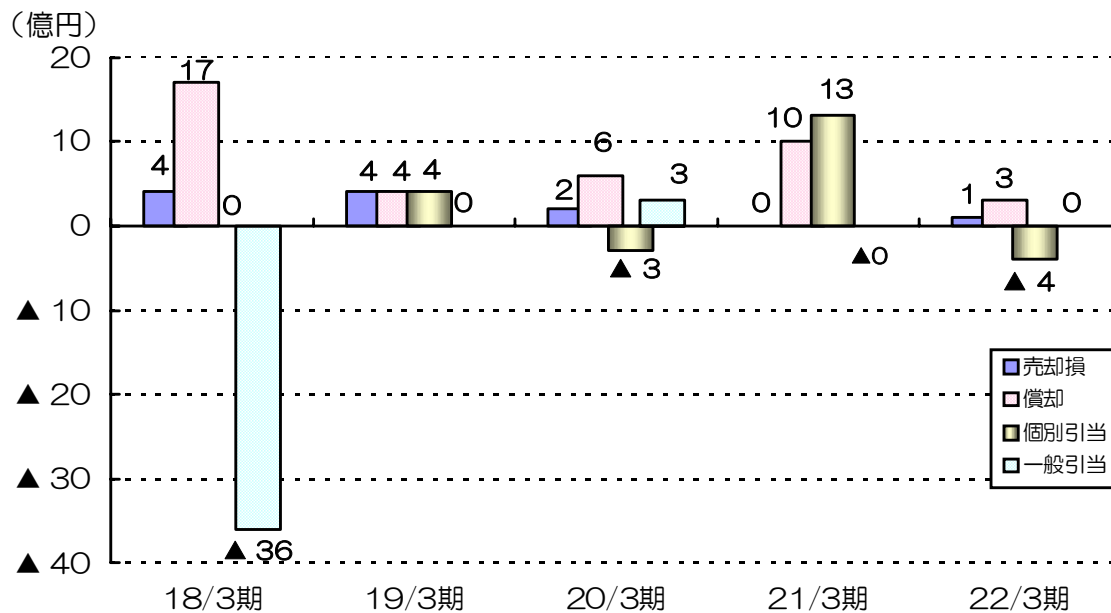
（単位：百万円）

	21/3期	22/3期	
		実績	前年比
与信費用	2,252	103	▲2,149
一般貸倒引当金繰入	▲78	88	167
不良債権処理額	2,331	14	▲2,316
個別貸倒引当金繰入	1,300	▲472	▲1,772
信託元本補填引当金繰入	21	▲41	▲62
貸出金償却	1,009	365	▲644
債権売却損	-	163	163
償却債権取立益	475	236	▲238

(注) 1. 信託勘定を含んでおります。

2. 与信費用とは、貸出金等の債権保全に係る費用（一般貸倒引当金繰入と不良債権処理額の合計）を指します。

### 与信費用の推移





(2) 開示債権(前年度比較)

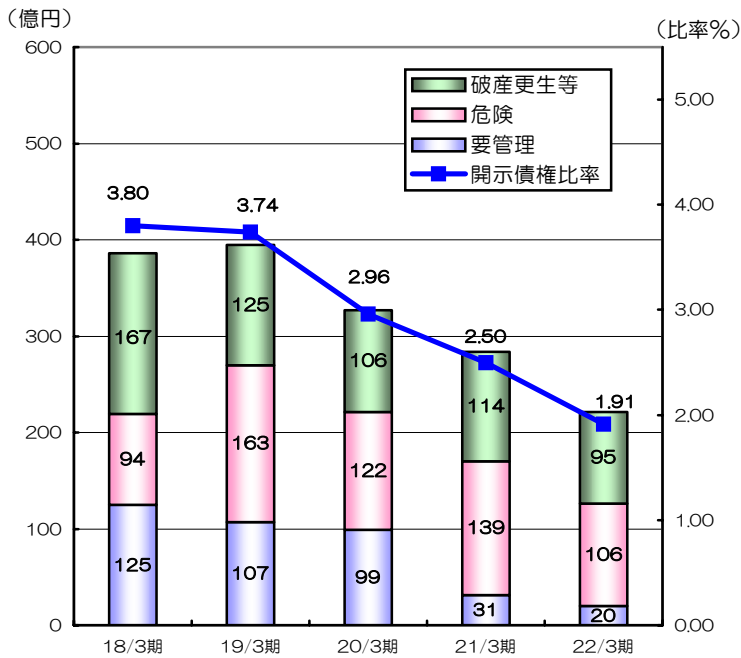
取引先の経営改善による債務者区分のランクアップ等に努めた結果、開示債権は前年比62億円減少の222億円となり、開示債権比率は前年比0.59ポイント低下の1.91%となりました。

(単位:億円、%)

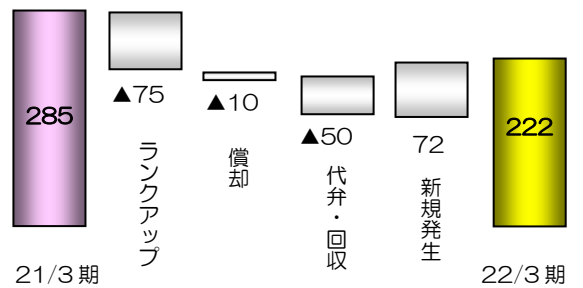
	21/3期	22/3期		
		実績	部分直接償却 控除前	前年比
開示債権(a)	285	222	239	▲62
破産更生債権等	114	95	112	▲18
危険債権	139	106	106	▲33
要管理債権	31	20	20	▲10
正常債権	11,125	11,409	11,409	283
総与信額(b)	11,411	11,632	11,648	220
開示債権比率 a/b	2.50	1.91	2.05	▲0.59

※信託勘定を含でおります。

開示債権(単体)の推移



開示債権オフバランス化の内訳



## 5. 自己資本比率(国内基準)の状況

## ➤ 自己資本額(前年度末比較、単体)

自己資本額は内部留保の積み上げにより、前年比 63 億円増加の 1,036 億円となりました。

## ➤ 自己資本比率(前年度末比較、単体)

リスクアセットは、リスクウェイトの低い資産(信用保証付貸出金、国債等)を中心に運用したことから、前年比212億円減少の8,362億円となり、自己資本比率は前年比1.04ポイント上昇の12.39%となりました。

## 【自己資本比率の推移】

(単位：億円、%)

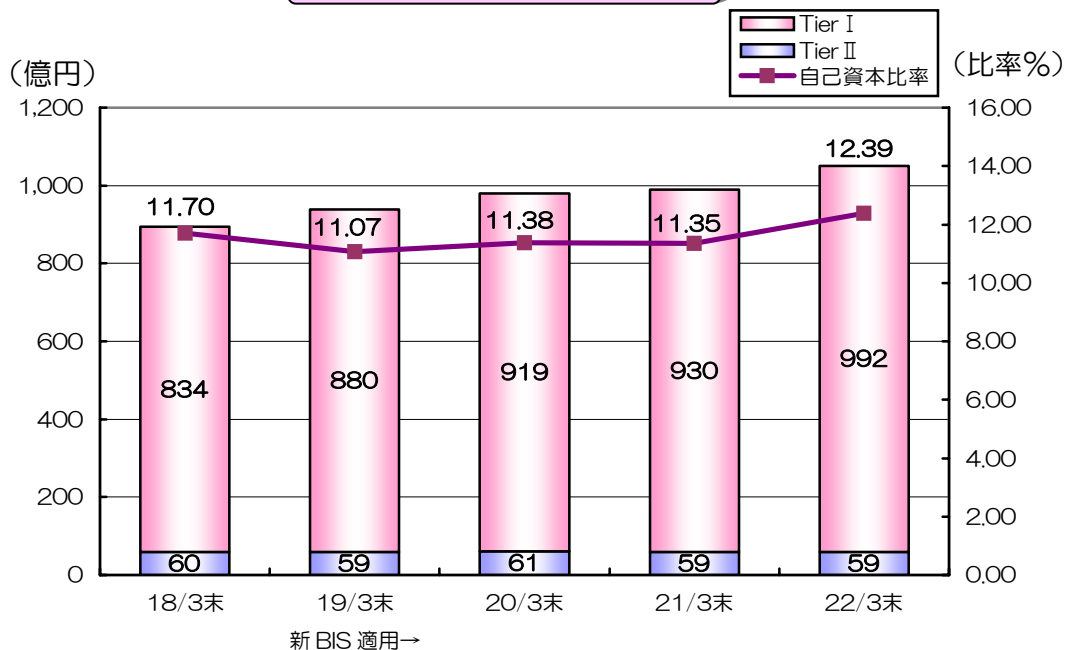
	単 体			連 結		
	21/3 末	22/3 末		21/3 末	22/3 末	
		実績	前年比		実績	前年比
自己資本額(a)	973	1,036	63	1,024	1,098	74
TIER I (b)	930	992	62	972	1,048	75
TIER II	59	59	0	67	65	▲1
控除項目	15	15	0	15	15	▲0
リスクアセット(c)	8,575	8,362	▲212	8,816	8,603	▲213
自己資本比率 a/c	11.35	12.39	1.04	11.61	12.76	1.15
TIER I 比率 b/c	10.84	11.86	1.02	11.03	12.18	1.15

TIER I：資本金や準備金、任意積立金等の正味の自己資本

TIER II：貸倒引当金など、広い意味で自己資本と見なされる補完的資本

リスクアセット：資産の各項目に対して、法令により定められた掛け目(リスクウェイト)を乗じた額

## 自己資本比率(単体)の推移



## 6. 業績予想

## ➤ 経常収益

貸出金の増強に伴う利息収入の増加を見込むものの、有価証券利息配当金及び有価証券売却益の減少等により、経常収益は前年比 17 億円減少の 380 億円を見込んでおります。

## ➤ 業務純益

国債等債券損益の減少等により、業務純益は前年比 29 億円減少の 104 億円を見込んでおります。

## ➤ 経常利益

業務純益の減少等により、経常利益は前年比 33 億円減少の 100 億円を見込んでおります。以上の結果、平成 22 年度の業績は減収減益を見込んでおります。

## ➤ 当期純利益

経常利益の減少に伴い、当期純利益は前年比 31 億円減少の 54 億円を見込んでおります

## 【単体】

(単位：億円)

	22/9 期 予想	23/3 期	
		予想	前年比
経常収益	187	380	▲17
コア業務純益	54	115	1
業務純益	45	104	▲29
経常利益	46	100	▲33
当期純利益(中間)	24	54	▲31
不良債権処理額	1	10	9

※不良債権処理額は、信託勘定を含んでおります。

## 【連結】

(単位：億円)

	22/9 期 予想	23/3 期	
		予想	前年比
経常収益	255	519	▲27
経常利益	52	111	▲39
当期純利益	24	56	▲39

※22年度の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報、及び将来の業績に与える不確実な要因に係る仮定を前提としています。よって、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 【不良債権(金融再生法基準)】

	22/9 期予想		23/3 期予想	
	単体	連結	単体	連結
開示債権比率	1%台	1%台	1%台	1%台

## 【自己資本比率】

	22/9 期予想		23/3 期予想	
	単体	連結	単体	連結
自己資本比率	12%台	12%台	12%台	12%台
Tier1 比率	11%台	12%台	11%台	12%台

## II. 平成21年度決算の概況

## 1. 損益状況

【単体】

(単位:百万円)

		平成22年3月期	平成21年3月期比	平成21年3月期
業	務 粗 利 益	31,404	4,782	26,621
	国内業務粗利益	30,858	4,755	26,102
	資金利益	27,347	571	26,776
	役務取引等利益	1,513	△278	1,791
	その他業務利益	1,996	4,462	△2,465
	国際業務粗利益	546	27	518
	資金利益	255	32	223
	役務取引等利益	56	△5	62
	その他業務利益	233	0	232
経	費(除く臨時処理分)	18,059	△8	18,068
	人件費	8,947	154	8,792
	物件費	8,122	△223	8,346
	税金	990	60	930
業	務 純 益(一般貸倒繰入前)	13,344	4,791	8,552
	除く 国債等債券損益(5勘定戻)	11,347	328	11,019
	一般貸倒引当金繰入	-	78	△78
業	務 純 益	13,344	4,712	8,631
	うち 国債等債券損益(5勘定戻)	1,996	4,463	△2,466
臨	時 損 益	△14	4,182	△4,196
	うち 株式等損益(3勘定戻)	210	2,245	△2,034
	うち 不良債権処理額	528 ( 528 )	△1,802 ( △1,802 )	2,331 ( 2,331 )
	うち 貸出金償却	365 ( 365 )	△644 ( △644 )	1,009 ( 1,009 )
	うち 個別貸倒引当金繰入額	-	△1,300	1,300
	うち 債権売却損	163 ( 163 )	163 ( 163 )	- ( - )
経	常 利 益	13,329	8,894	4,434
特	別 損 益	521	399	122
	うち 固定資産処分損益	△120	△106	△14
	うち 貸倒引当金戻入益	384	384	-
	うち 償却債権取立益	236	△218	455
	うち 早期割増退職金	-	△319	319
税	引 前 当 期 純 利 益	13,851	9,294	4,556
	法人税、住民税及び事業税	4,820	3,111	1,709
	法人税等調整額	434	477	△43
	当 期 純 利 益	8,595	5,704	2,890

(注) 1. ( )書きは信託勘定を含んでおります。

2. 与信費用及び不良債権処理総額については、決算説明資料6ページ「4. (1) 与信費用(前年度比較)」に記載しております。

## 【連結】

&lt;連結損益計算書ベース&gt;

(単位:百万円)

	平成22年3月期	平成21年3月期比	平成21年3月期
連 結 粗 利 益	35,392	5,284	30,107
資 金 利 益	28,354	654	27,700
信 託 報 酬	321	△143	464
役 務 取 引 等 利 益	2,274	△115	2,389
そ の 他 業 務 利 益	4,442	4,889	△446
営 業 経 費	19,670	29	19,641
貸 倒 償 却 引 当 費 用	1,159	△2,508	3,668
貸 出 金 償 却	995	△148	1,144
個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	-	△2,659	2,659
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	-	231	△231
信 託 元 本 補 填 引 当 金 繰 入 額	-	△21	21
債 権 売 却 損	163	88	74
株 式 等 関 係 損 益	201	2,205	△2,003
そ の 他	254	57	196
経 常 利 益	15,019	10,027	4,991
特 別 損 益	720	668	52
うち貸倒引当金戻入益	488	488	-
うち償却債権取立益	350	△36	387
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	15,739	10,696	5,043
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	5,399	3,364	2,035
法 人 税 等 調 整 額	403	150	252
少 数 株 主 利 益	369	410	△40
当 期 純 利 益	9,567	6,770	2,797

(注) 1. 連結粗利益=資金利益+金銭の信託運用見合費用[金銭の信託取得に係る資金調達費用]+信託報酬+役務取引等利益+その他業務利益  
2. 貸倒引当金戻入益488百万円の内訳は、一般貸倒引当金繰入額55百万円、個別貸倒引当金戻入益544百万円であります。

(参考)

(単位:百万円)

連 結 業 務 純 益	15,807	5,031	10,775
-------------	--------	-------	--------

(注) 連結粗利益-営業経費(除く臨時処理分)-一般貸倒引当金繰入額

(連結対象会社数)

(社)

連 結 子 会 社 数	24	△4	28
持 分 法 適 用 会 社 数	0	0	0

## 2. 業務純益【単体】

(単位:百万円)

	22年3月期	21年3月期	
		21年3月期比	21年3月期
(1) 業務純益(一般貸倒繰入前)	13,344	4,791	8,552
職員一人当たり(千円)	12,471	4,425	8,045
(2) 業務純益	13,344	4,712	8,631
職員一人当たり(千円)	12,471	4,351	8,119

(注) 職員数は期中平均人員(出向者除く)を使用しております。

## 3. 利鞘【単体】

## (1) 総合

(単位:%)

	22年3月期	21年3月期	
		21年3月期比	21年3月期
(1) 資金運用利回(A)	2.17	△0.19	2.36
貸出金利回	2.53	△0.06	2.59
有価証券利回	1.12	△0.18	1.30
(2) 資金調達原価(B)	1.59	△0.19	1.78
預金等利回	0.28	△0.07	0.35
外部負債利回	1.94	1.37	0.57
(3) 総資金利鞘(A)-(B)	0.58	-	0.58

(注) 「外部負債」=コールマネー+借入金

## (2) 国内部門分

(単位:%)

	22年3月期	21年3月期	
		21年3月期比	21年3月期
(1) 資金運用利回(A)	2.17	△0.15	2.32
貸出金利回	2.53	△0.06	2.59
有価証券利回	1.09	△0.18	1.27
(2) 資金調達原価(B)	1.54	△0.15	1.69
預金等利回	0.27	△0.03	0.30
外部負債利回	1.94	1.37	0.57
(3) 総資金利鞘(A)-(B)	0.63	-	0.63

(注) 「外部負債」=コールマネー+借入金

## 4. 有価証券関係損益【単体】

(単位:百万円)

	22年3月期	21年3月期比	
		21年3月期	21年3月期
国債等債券損益(5勘定戻)	1,996	4,463	△2,466
売却益	2,109	625	1,484
償還益	-	-	-
売却損	113	△1,325	1,438
償還損	-	△2,425	2,425
償却	-	△87	87
株式等損益(3勘定戻)	210	2,245	△2,034
売却益	950	△552	1,503
売却損	510	△2,779	3,289
償却	229	△19	248

## 5. 自己資本比率(国内基準)【単体】

(単位:百万円,%)

	22年3月末	21年3月末比		21年3月末	21年9月末
		21年3月末比	21年9月末比		
(1) 自己資本比率	12.39	1.04	0.73	11.35	11.66
(2) Tier I	99,252	6,252	3,535	93,000	95,717
(3) Tier II	5,973	67	174	5,906	5,799
(イ)うち自己資本に計上された再評価差額	1,179	△20	△15	1,200	1,195
(ロ)うち劣後ローン(債券)残高	-	-	-	-	-
(4) 控除項目	1,542	△18	-	1,561	1,542
(他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額)	1,542	-	-	1,542	1,542
(5) 自己資本 (2)+(3)-(4)	103,683	6,338	3,709	97,344	99,973
(6) リスクアセット	836,292	△21,287	△20,726	857,579	857,018

## 自己資本比率(国内基準)【連結】

(単位:百万円,%)

	22年3月末	21年3月期比		21年3月末	21年9月末
		21年3月末比	21年9月末比		
(1) 自己資本比率	12.76	1.15	0.74	11.61	12.02
(2) Tier I	104,842	7,590	4,349	97,252	100,492
(3) Tier II	6,556	△153	△127	6,710	6,684
(イ)うち自己資本に計上された再評価差額	1,179	△20	△15	1,200	1,195
(ロ)うち劣後ローン(債券)残高	-	-	-	-	-
(4) 控除項目	1,542	△18	-	1,561	1,542
(他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額)	1,542	-	-	1,542	1,542
(5) 自己資本 (2)+(3)-(4)	109,856	7,455	4,222	102,401	105,633
(6) リスクアセット	860,301	△21,310	△17,862	881,611	878,163

## 6. ROE【単体】

(単位:%)

	22年3月期	21年3月期比	
		21年3月期比	21年3月期
業務純益ベース	13.27	4.14	9.13
コア業務純益ベース	11.29	△0.37	11.66
当期純利益ベース	8.55	5.49	3.06

$$\text{(算式)} \quad \frac{\text{業務純益(コア業務純益、当期純利益)}}{(\text{期首純資産の部} + \text{期末純資産の部}) \div 2} \times 100$$

※ コア業務純益=業務純益-債券5勘定戻+一般貸倒引当金繰入額+信託勘定償却額等

(参考)

## ROE(株主資本ベース)【単体】

(単位:%)

	22年3月期	21年3月期比	
		21年3月期比	21年3月期
業務純益ベース	13.78	4.51	9.27
コア業務純益ベース	11.72	△0.11	11.83
当期純利益ベース	8.88	5.78	3.10

$$\text{(算式)} \quad \frac{\text{業務純益(コア業務純益、当期純利益)}}{(\text{期首株主資本} + \text{期末株主資本}) \div 2} \times 100$$



## Ⅲ. 貸出金等の状況

## 1. リスク管理債権の状況

部分直接償却実施（前・**後**）  
未収利息不計上基準(自己査定基準)

## 【単体】

(単位:百万円)

		22年3月末	21年3月末比	21年9月末比	21年3月末	21年9月末
リスク管理債権	破綻先債権額	1,795	562	△198	1,233	1,994
	延滞債権額	17,841	△6,241	△666	24,083	18,507
	3ヶ月以上延滞債権額	683	422	△23	261	707
	貸出条件緩和債権額	1,396	△1,484	△88	2,881	1,485
	合 計	21,717	△6,741	△976	28,459	22,694

(注) 信託勘定を含んでおります。

貸出金残高(末残)	1,148,492	22,090	12,320	1,126,401	1,136,172
-----------	-----------	--------	--------	-----------	-----------

(注) 信託勘定を含んでおります。

(単位:%)

貸出金残高比	破綻先債権	0.15	0.05	△0.02	0.10	0.17
	延滞債権	1.55	△0.58	△0.07	2.13	1.62
	3ヶ月以上延滞債権	0.05	0.03	△0.01	0.02	0.06
	貸出条件緩和債権	0.12	△0.13	△0.01	0.25	0.13
	合 計	1.89	△0.63	△0.10	2.52	1.99

(注) 信託勘定を含んでおります。

## 【連結】

(単位:百万円)

		22年3月末	21年3月末比	21年9月末比	21年3月末	21年9月末
リスク管理債権	破綻先債権額	1,918	587	△141	1,330	2,059
	延滞債権額	18,926	△6,395	△671	25,322	19,597
	3ヶ月以上延滞債権額	683	422	△23	261	707
	貸出条件緩和債権額	1,396	△1,484	△88	2,881	1,485
	合 計	22,925	△6,870	△924	29,795	23,849

(注) 信託勘定を含んでおります。

貸出金残高(末残)	1,135,768	22,402	15,693	1,113,366	1,120,075
-----------	-----------	--------	--------	-----------	-----------

(注) 信託勘定を含んでおります。

(単位:%)

貸出金残高比	破綻先債権	0.16	0.05	△0.02	0.11	0.18
	延滞債権	1.66	△0.61	△0.08	2.27	1.74
	3ヶ月以上延滞債権	0.06	0.04	—	0.02	0.06
	貸出条件緩和債権	0.12	△0.13	△0.01	0.25	0.13
	合 計	2.01	△0.66	△0.11	2.67	2.12

(注) 信託勘定を含んでおります。

## 2. 貸倒引当金等の状況

## 【単体】

(単位:百万円)

	22年3月末	21年3月末比		21年3月末	21年9月末
		21年3月末比	21年9月末比		
貸倒引当金	8,932	△1,063	△754	9,996	9,686
一般貸倒引当金	4,794	88	189	4,705	4,604
個別貸倒引当金	4,138	△1,151	△944	5,290	5,082
信託元本補填引当金	233	△41	2	274	231

## 【連結】

(単位:百万円)

	22年3月末	21年3月末比		21年3月末	21年9月末
		21年3月末比	21年9月末比		
貸倒引当金	13,703	△1,391	△1,207	15,094	14,910
一般貸倒引当金	6,298	55	114	6,242	6,184
個別貸倒引当金	7,404	△1,447	△1,321	8,852	8,726
信託元本補填引当金	233	△41	2	274	231

## 3. リスク管理債権に対する保全状況

## 【単体】

(単位:百万円,%)

	22年3月末	21年3月末比		21年3月末	21年9月末
		21年3月末比	21年9月末比		
リスク管理債権額 (A)	21,717	△6,741	△976	28,459	22,694
保 全 額	17,910	△5,228	△1,680	23,139	19,591
貸倒引当金 (B)	4,349	△1,412	△1,085	5,761	5,434
担保・保証等 (C)	13,561	△3,816	△595	17,378	14,156
保 全 率 (B+C) / (A)	82.47	1.17	△3.85	81.30	86.32
貸倒引当金 (B/A)	20.02	△0.22	△3.92	20.24	23.94
担保・保証等 (C/A)	62.44	1.38	0.06	61.06	62.38

(注) 信託勘定を含んでおります。

## 【連結】

(単位:百万円,%)

	22年3月末	21年3月末比		21年3月末	21年9月末
		21年3月末比	21年9月末比		
リスク管理債権額 (A)	22,925	△6,870	△924	29,795	23,849
保 全 額	19,072	△5,305	△1,632	24,378	20,704
貸倒引当金 (B)	5,115	△1,525	△1,095	6,640	6,210
担保・保証等 (C)	13,957	△3,780	△537	17,737	14,494
保 全 率 (B+C) / (A)	83.19	1.38	△3.62	81.81	86.81
貸倒引当金 (B/A)	22.31	0.03	△3.73	22.28	26.04
担保・保証等 (C/A)	60.88	1.35	0.11	59.53	60.77

(注) 信託勘定を含んでおります。

## 4. 金融再生法開示債権

部分直接償却の実施 (有) 無 )

## 【単体】

(単位:百万円,%)

	22年3月末			21年3月末	21年9月末
		21年3月末比	21年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,582	△1,848	△2,092	11,431	11,675
危険債権	10,601	△3,385	1,722	13,987	8,879
要管理債権	2,080	△1,062	△111	3,142	2,192
合計 (A)	22,265	△6,296	△481	28,561	22,746
正常債権	1,140,936	28,386	13,089	1,112,550	1,127,847
総与信残高 (B)	1,163,201	22,089	12,607	1,141,111	1,150,593
総与信残高に占める割合 (A)/(B)	1.91	△0.59	△0.06	2.50	1.97
部分直接償却額	1,672	△369	△334	2,041	2,006

(注) 信託勘定を含んでおります。

## 【連結】

(単位:百万円,%)

	22年3月末			21年3月末	21年9月末
		21年3月末比	21年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	10,702	△1,854	△2,033	12,556	12,735
危険債権	10,689	△3,509	1,714	14,199	8,974
要管理債権	2,080	△1,062	△111	3,142	2,192
合計 (A)	23,472	△6,426	△430	29,898	23,902
正常債権	1,127,039	28,821	16,409	1,098,217	1,110,629
総与信残高 (B)	1,150,511	22,395	15,979	1,128,115	1,134,532
総与信残高に占める割合 (A)/(B)	2.04	△0.61	△0.06	2.65	2.10
部分直接償却額	3,218	△515	△151	3,734	3,370

(注) 信託勘定を含んでおります。

## 5. 金融再生法開示債権の保全状況

## 【単体】

(単位:百万円)

	22年3月末			21年3月末	21年9月末
		21年3月末比	21年9月末比		
保全額 (C)	18,140	△5,082	△1,502	23,223	19,643
貸倒引当金	4,487	△1,294	△958	5,781	5,445
担保保証等	13,653	△3,788	△544	17,442	14,197

(注) 信託勘定を含んでおります。

(単位:%)

保全率 (C) / (A)	81.47	0.16	△4.88	81.31	86.35
---------------	-------	------	-------	-------	-------

## 【連結】

(単位:百万円)

	22年3月末			21年3月末	21年9月末
		21年3月末比	21年9月末比		
保全額 (C)	19,302	△5,161	△1,455	24,463	20,758
貸倒引当金	5,253	△1,408	△969	6,661	6,222
担保保証等	14,049	△3,752	△486	17,801	14,535

(注) 信託勘定を含んでおります。

(単位:%)

保全率 (C) / (A)	82.23	0.41	△4.61	81.82	86.84
---------------	-------	------	-------	-------	-------

## 6. 金融再生法開示基準並びに自己査定債務者区分による引当率、保全率の状況

## ・金融再生法区分による引当率・保全率の状況【単体】

(単位:百万円,%)

	22年3月末			
	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権	危険債権	要管理債権	合 計
総 与 信 額 (A)	9,582	10,601	2,080	22,265
担保等の保全額 (B)	6,792	5,350	1,510	13,653
未保全額 (C) = [(A)-(B)]	2,789	5,251	570	8,611
引 当 額 (D)	2,789	1,543	153	4,487
引 当 率 (D)/(C)	100.00	29.38	26.98	52.10
保 全 率 [(B)+(D)]/(A)	100.00	65.02	79.98	81.47

(注) 信託勘定を含んでおります。

## ・自己査定債務者区分による引当率・保全率の状況【単体】

(単位:百万円,%)

	22年3月末			合 計
	破綻先債権	実質破綻先債権	破綻懸念先債権	
総 与 信 額 (A)	1,801	7,781	10,601	20,184
担保等の保全額 (B)	1,345	5,447	5,350	12,143
未保全額 (C) = [(A)-(B)]	456	2,333	5,251	8,041
引 当 額 (D)	456	2,333	1,543	4,333
引 当 率 (D)/(C)	100.00	100.00	29.38	53.88
保 全 率 [(B)+(D)]/(A)	100.00	100.00	65.02	81.63

(注) 信託勘定を含んでおります。

## ・金融再生法区分による引当率・保全率の状況【連結】

(単位:百万円,%)

	22年3月末			
	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権	危険債権	要管理債権	合 計
総 与 信 額 (A)	10,702	10,689	2,080	23,472
担保等の保全額 (B)	7,188	5,350	1,510	14,049
未保全額 (C) = [(A)-(B)]	3,513	5,339	570	9,423
引 当 額 (D)	3,513	1,585	153	5,253
引 当 率 (D)/(C)	100.00	29.69	26.98	55.74
保 全 率 [(B)+(D)]/(A)	100.00	64.88	79.98	82.23

(注) 信託勘定を含んでおります。

## ・ 自己査定債務者区分による引当率・保全率の状況【連結】

(単位:百万円,%)

	22年3月末			
	破綻先債権	実質破綻先債権	破綻懸念先債権	合計
総与信額 (A)	1,924	8,777	10,689	21,392
担保等の保全額 (B)	1,417	5,771	5,350	12,538
未保全額 (C)=[(A)-(B)]	507	3,006	5,339	8,853
引当額 (D)	507	3,006	1,585	5,099
引当率 (D)/(C)	100.00	100.00	29.69	57.60
保全率 [(B)+(D)]/(A)	100.00	100.00	64.88	82.45

(注) 信託勘定を含んでおります。

## 7. 自己査定結果及び債権分類(率)の状況【単体】

(単位:百万円,%)

	22年3月末		21年3月末	
	金額	構成比率	金額	構成比率
総与信残高	1,163,201	100.00	1,141,111	100.00
非分類額	1,038,433	89.27	1,015,931	89.03
分類額合計	124,767	10.72	125,179	10.96
II分類	121,130	10.41	121,399	10.63
III分類	3,637	0.31	3,779	0.33
IV分類	-	-	-	-

(注) 総与信残高……貸付有価証券、貸出金、外国為替、未収利息、仮払金、支払承諾見返

分類額は個別貸倒引当金控除後の残高であります。

非分類……II、III、IV分類に該当しない資産で、回収の危険性又は価値の毀損の危険性について問題のない資産。

II分類……回収について通常の度合を超える危険を含むと認められる資産。

III分類……最終の回収又は価値について重大な懸念が存し、損失の可能性が高いが、その損失額について合理的な推計が困難な資産。

IV分類……回収不可能又は無価値と判定される資産。

自己査定区分	償却・引当基準	
破綻先債権	担保・保証等で保全されていない債権額の100%を個別貸倒引当金として計上するか、又は直接償却する。	
実質破綻先債権		
破綻懸念先債権	貸倒実績率に基づく予想損失率を乗じて算定した予想損失額に相当する額を、個別貸倒引当金として計上する。	
要管理先債権	一般先	対象債権残高に対し、貸倒実績率に基づく今後3年間の予想損失率を乗じて算定した予想損失額を、一般貸倒引当金として計上する。
	DCF先	対象先の将来キャッシュフローの割引現在価値を見積り、当該額を対象債権残高から控除した金額を、一般貸倒引当金として計上する。
	DDS先	当該債務者に対する金銭債権全体について、優先・劣後の関係を考慮せずに予想損失率を用いて計上する。又は、資本的劣後ローンの回収可能見込額をゼロと算定し、取得原価又は償却原価と同額を貸倒見積額として計上する。
その他要注意先債権	対象債権残高に対し、貸倒実績率に基づく今後1年間の予想損失率を乗じて算定した予想損失額を、一般貸倒引当金として計上する。	
正常先債権		

## 8. 自己査定結果と開示債権との関係【単体】

(単位:百万円)

自己査定結果(債務者区分別) 対象:総与信					金融再生法 開示債権	リスク 管理債権	引当金	保全率
債務者区分 (償却後)	分類				対象:総与信	対象:貸出金		(引当率)
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類				
破綻先 1,801	引当・担保・保証 等による保全部分 658	1,143	全額 引当		破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権 9,582  保全率: 100.00%	破綻先債権 1,795	456	100.00%
実質破綻先 7,781	引当・担保・保証 等による保全部分 3,470	4,310						
破綻懸念先 10,601	引当・担保・保証 等による保全部分 3,655	3,308	必要額 を引当  3,637		危険債権 10,601  保全率: 65.02%		1,543	65.02% (29.38)
要 注 意 先	担保: 2,193 信用: 915  366	2,742			要管理債権 2,080  保全率: 79.98%	3ヶ月以上 延滞債権 683	231	77.99% (25.30)
	要管理先 以外の 要注意先 156,019	46,393	109,625		小計 22,265  全体の保全率 81.47%	貸出条件 緩和債権 1,396		4,157
					正常債権 1,140,936	合計 21,717		431
合計 1,163,201	1,038,433	121,130	3,637	-	1,163,201	1,148,492	9,153	81.14% (50.96)

(注) 信託勘定を含んでおります。

## 9. 業種別貸出の状況等

## ① 業種別貸出金【単体】

(単位:百万円)

	22年3月末	21年9月末比	21年9月末
	国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	1,148,492	12,320
製 造 業	39,417	△1,389	40,806
農 業 , 林 業	735	△36	772
漁 業	571	△19	590
鉱業,採石業,砂利採取業	2,386	689	1,697
建 設 業	55,999	2,625	53,374
電気・ガス・熱供給・水道業	4,253	1,652	2,601
情 報 通 信 業	9,931	△248	10,179
運 輸 業 , 郵 便 業	18,070	△4,087	22,158
卸 売 業 , 小 売 業	126,913	△6,134	133,048
金 融 , 保 険 業	14,636	86	14,550
不動産業,物品賃貸業	202,918	3,008	199,909
各種サービス業	145,266	515	144,750
地 方 公 共 団 体	116,453	12,731	103,721
そ の 他	410,936	2,926	408,009

(注) 1. 信託勘定を含んでおります。

2. 日本標準産業分類改定(平成19年11月)に伴い、平成21年9月末から業種の表示を一部変更しております。

なお、改定前の平成21年3月末の「業種別貸出金」については以下のとおりです。

(単位:百万円)

	21年3月末
国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	1,126,401
製 造 業	43,169
農 業	833
漁 業	599
鉱 業	2,262
建 設 業	56,659
電気・ガス・熱供給・水道業	2,842
情 報 通 信 業	9,522
運 輸 業	20,920
卸 売 業	71,580
小 売 業	57,163
金 融 ・ 保 険 業	23,442
不 動 産 業	171,793
各種サービス業	156,892
地 方 公 共 団 体	102,174
そ の 他	406,544

(注) 信託勘定を含んでおります。

## ② 業種別リスク管理債権【単体】

(単位:百万円)

	22年3月末	21年9月末比	21年9月末
	国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	21,717	△976
製 造 業	1,232	△22	1,255
農 業 , 林 業	34	23	11
漁 業	49	0	49
鉱業, 採石業, 砂利採取業	41	△3	45
建 設 業	2,486	836	1,649
情 報 通 信 業	129	54	74
運 輸 業 , 郵 便 業	861	△126	988
卸 売 業 , 小 売 業	4,071	△664	4,735
不動産業, 物品賃貸業	3,082	395	2,687
各 種 サ ー ビ ス 業	2,848	△1,084	3,933
そ の 他	6,880	△383	7,264

(注) 1. 信託勘定を含んでおります。

2. 日本標準産業分類改定(平成19年11月)に伴い、平成21年9月末から業種の表示を一部変更しております。  
 なお、改定前の平成21年3月末の「業種別貸出金」については以下のとおりです。

(単位:百万円)

	21年3月末
国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	28,459
製 造 業	1,398
農 業	13
漁 業	88
鉱 業	45
建 設 業	2,116
情 報 通 信 業	77
運 輸 業	119
卸 売 業	1,730
小 売 業	4,339
金 融 ・ 保 険 業	-
不 動 産 業	4,886
各 種 サ ー ビ ス 業	5,375
そ の 他	8,270

(注) 信託勘定を含んでおります。



## ③ 卸売・小売、建設、不動産、その他金融向けの貸出残高、不良債権残高

(単位:百万円)

		リスク管理債権ベース				
		総貸出残高	3ヵ月以上延滞先	貸出条件緩和先	延滞先	破綻先
卸売・小売業	平成21年3月末	128,743	8	224	5,792	44
	平成21年9月末	133,048	82	104	4,353	196
	平成22年3月末	126,913	9	117	3,793	150
建設業	平成21年3月末	56,659	2	360	1,515	237
	平成21年9月末	53,374	10	339	1,142	157
	平成22年3月末	55,999	33	7	2,163	281
不動産業	平成21年3月末	171,793	84	1,117	3,500	184
	平成21年9月末	174,871	—	67	2,521	1
	平成22年3月末	181,359	153	106	2,814	1
その他金融	平成21年3月末	5,766	—	—	—	—
	平成21年9月末	11,929	—	—	—	—
	平成22年3月末	11,004	—	—	—	—

(注) 信託勘定を含んでおります。

(単位:百万円)

		金融再生法開示債権ベース			
		総与信残高	要管理債権	危険債権	破産更生債権
卸売・小売業	平成21年3月末	133,712	232	3,413	2,484
	平成21年9月末	137,556	186	2,523	2,037
	平成22年3月末	130,958	127	2,844	1,107
建設業	平成21年3月末	58,362	362	1,028	728
	平成21年9月末	55,510	349	554	749
	平成22年3月末	57,991	40	2,273	687
不動産業	平成21年3月末	173,152	1,201	1,755	1,933
	平成21年9月末	176,030	67	485	2,038
	平成22年3月末	183,828	260	973	1,843
その他金融	平成21年3月末	5,772	—	—	—
	平成21年9月末	13,984	—	—	—
	平成22年3月末	11,024	—	—	—

(注) 信託勘定を含んでおります。

## ④ 消費者ローン残高【単体】

(単位:百万円)

	22年3月末	21年3月末比		21年3月末	21年9月末
		21年3月末比	21年9月末比		
消費者ローン残高	420,845 ( 423,308 )	12,238 ( 11,832 )	7,239 ( 7,107 )	408,607 ( 411,475 )	413,606 ( 416,200 )
うち 住宅ローン残高	364,632 ( 365,885 )	10,972 ( 10,720 )	5,850 ( 5,747 )	353,660 ( 355,165 )	358,782 ( 360,138 )
うち その他ローン残高	56,213 ( 57,422 )	1,266 ( 1,112 )	1,389 ( 1,360 )	54,947 ( 56,309 )	54,824 ( 56,062 )

(注) ( )書きは信託勘定を含んでおります。

## ⑤ 中小企業等貸出残高及び貸出比率【単体】

(単位:百万円、%)

	22年3月末	21年3月末比		21年3月末	21年9月末
		21年3月末比	21年9月末比		
中小企業等貸出残高	933,056 ( 942,825 )	16,946 ( 15,211 )	5,432 ( 4,642 )	916,109 ( 927,614 )	927,623 ( 938,182 )
中小企業等貸出比率	81.94 ( 82.09 )	△0.24 ( △0.26 )	△0.48 ( △0.48 )	82.18 ( 82.35 )	82.42 ( 82.57 )

(注) ( )書きは信託勘定を含んでおります。

## 10. 信用保証協会保証付融資【単体】

(単位:百万円)

	22年3月末	21年9月末	21年3月末
信用保証協会保証付融資	97,835	91,364	77,264
うち 特別保証枠分	127	159	305

## 11. 系列ノンバンク向け融資残高【単体】

(単位:百万円)

22年3月末	21年9月末	21年3月末
18,008	21,538	18,821

## 12. 預金、貸出金の残高【単体】

(単位:百万円)

	22年3月期	21年3月期比		21年3月期	21年9月期
		21年3月期比	21年9月期比		
預金(末残)	1,436,822 ( 1,463,882 )	134,015 ( 138,203 )	△5,519 ( 1,707 )	1,302,807 ( 1,325,678 )	1,442,342 ( 1,462,174 )
(平残)	1,378,675 ( 1,400,153 )	119,883 ( 116,347 )	12,077 ( 11,660 )	1,258,791 ( 1,283,805 )	1,366,597 ( 1,388,493 )
貸出金(末残)	1,138,622 ( 1,148,492 )	23,971 ( 22,090 )	13,187 ( 12,320 )	1,114,651 ( 1,126,401 )	1,125,435 ( 1,136,172 )
(平残)	1,102,337 ( 1,113,102 )	39,755 ( 37,107 )	3,555 ( 3,093 )	1,062,582 ( 1,075,995 )	1,098,781 ( 1,110,009 )

(注) ( )書きは信託勘定を含んでおります。

## 13. 個人、法人預金の種類別内訳(平残)【単体】

(単位:百万円)

種 類	22年3月期	21年3月期比		21年3月期	21年9月期
		21年3月期比	21年9月期比		
個 人 預 金	901,841	52,379	12,604	849,462	889,236
流動性預金	435,856	4,621	388	431,234	435,467
定期性預金	465,985	47,757	12,216	418,227	453,768
法 人 預 金	498,312	63,968	△944	434,343	499,256
流動性預金	277,708	28,564	△12,183	249,144	289,891
定期性預金	220,603	35,404	11,238	185,198	209,364
合 計	1,400,153	116,347	11,660	1,283,805	1,388,493
流動性預金	713,565	33,185	△11,794	680,379	725,359
定期性預金	686,588	83,162	23,454	603,426	663,133

(注) 1. 信託勘定を含んでおります。  
2. 法人預金には、公金預金及び金融機関預金を含んでおります。

## IV. 業績予想等

## 1. 平成23年3月期通期の業績予想【単体】

(単位:百万円)

	23年3月期予想	22年3月期実績
経 常 収 益	38,000	39,757
経 常 利 益	10,000	13,329
当 期 純 利 益	5,400	8,595
業 務 純 益	10,400	13,344
業務純益(一般貸倒繰入前)	11,400	13,344
除く 国債等債券損益	11,400	11,347
貸 出 金 関 係 損 失	1,000	14

(注) 貸出金関係損失(不良債権処理額)には信託勘定を含んでおります。

## ○ 業務純益について【単体】

(単位:百万円)

	一般貸引繰入前		一般貸引繰入後	信託勘定償却前業務純益		
		除く債券損益		一般貸引繰入前		一般貸引繰入後
					除く債券損益	
平成21年3月期	8,552	11,019	8,631	8,552	11,019	8,631
平成21年9月期中間期	6,664	5,850	6,765	6,664	5,850	6,765
平成22年3月期	13,344	11,347	13,344	13,344	11,347	13,344
平成23年3月期予想	11,400	11,400	10,400	11,500	11,500	10,400
平成22年9月期予想	5,400	5,400	4,500	5,400	5,400	4,500

## 2. 人員と店舗の状況【単体】

## ① 人員

(単位:人)

	22年3月末実績		21年3月末	21年9月末
	21年3月末比	21年9月末比		
在籍行員数	1,097	△4	1,101	1,126

## ② 店舗

(単位:店舗)

	22年3月末実績		21年3月末	21年9月末
	21年3月末比	21年9月末比		
店舗数	64 (5)	0 (0)	64 (5)	64 (5)

(注) 店舗数には出張所も含めております。( )は出張所数です。

## 3. 保有株式について【単体】

## (1) 保有株式

(単位:百万円)

	取得原価ベース	時価ベース	Tier1
平成21年3月末	23,064	22,040	—
平成21年9月末	21,262	23,784	—
平成22年3月末	23,266	26,343	—

## (2) 減損処理について

(単位:百万円)

	株式等関係損益	うち 減損処理額
	平成21年3月期	△2,034
平成22年3月期	210	229

## 4. 不良債権について【単体】

## (1) 処理損失

(単位:百万円)

	①一般貸倒引当金 純繰入額	②不良債権処理額 (銀行勘定)	③不良債権処理額 (信託勘定)	総与信費用 ①+②+③
平成21年3月期	△78	2,331	0	2,252
平成22年3月期	88	14	—	103
平成21年9月中間期	△101	332	—	230
平成23年3月期予想	1,040	1,030	24	2,094
平成22年9月中間期予想	930	160	10	1,100

(注) ②=個別貸倒引当金、貸出金償却、債権売却損など臨時損益段階の合計

## (2) 残高

(単位:百万円)

	自己査定				
	破綻・実質破綻先 ①	破綻懸念先 ②	破綻懸念先以下 ①+②	要注意先債権 ③	計 ①+②+③
平成21年3月末	11,431	13,987	25,418	146,368	171,786
平成21年9月末	11,675	8,879	20,554	160,809	181,363
平成22年3月末	9,582	10,601	20,184	159,128	179,313

	金融再生法基準	
	要管理債権 ④	計 ①+②+④
平成21年3月末	3,142	28,561
平成21年9月末	2,192	22,746
平成22年3月末	2,080	22,265

(注) 信託勘定を含んでおります。

## (3) 最終処理と新規発生

## a. 残高について

(単位:百万円)

	破産更生債権	危険債権	合計
平成21年3月末	11,431	13,987	25,418
平成21年9月末	11,675	8,879	20,554
平成22年3月末	9,582	10,601	20,184
21/3→22/3新規増加	2,797	3,864	6,662
21/3→22/3オフバランス化	4,646	7,250	11,896
21/3→22/3増減	△1,848	△3,385	△5,234
21/9→22/3新規増加	1,438	3,694	5,132
21/9→22/3オフバランス化	3,530	1,971	5,502
21/9→22/3増減	△2,092	1,722	△369

(注) 信託勘定を含んでおります。

## b. オフバランス化の内訳

(単位:百万円)

	平成22年3月期実績	平成21年9月期実績	平成21年3月期実績
清算型処理	—	—	—
再建型処理	—	—	—
再建型処理に伴う業況改善	—	—	—
債権流動化	7	7	—
RCC向け売却	—	—	—
直接償却	1,040	578	1,871
その他	10,848	7,133	6,453
回収・返済	4,382	2,357	3,032
業況改善	6,465	4,775	3,421
合計	11,896	7,718	8,324

## (4) 債務者区分ごとの引当額と引当率

		平成22年3月末	平成21年9月末	平成21年3月末
実質破綻・破綻先債権	無担保部分の	100.00 % 27 億円	100.00 % 37 億円	100.00 % 38 億円
破綻懸念先債権	無担保部分の	29.39 % 15 億円	38.78 % 15 億円	30.48 % 16 億円
要管理先債権	債権額の	7.45 % 2 億円	7.73 % 1 億円	8.05 % 3 億円
その他要注意先債権	債権額の	2.66 % 41 億円	2.53 % 40 億円	2.80 % 40 億円
正常先債権	債権額の	0.05 % 4 億円	0.05% 4 億円	0.05 % 4 億円

(注) 平成22年3月末のその他要注意先債権における債務者のうち、資本的劣後ローン(DDS)への転換先については29億円を引当処理しております。

## (5) 不良債権比率(金融再生法基準)

(単位:%)

	20年3月期	20年9月期	21年3月期	21年9月期	22年3月期	23年3月期 (予想)
単体ベース	2.96	2.97	2.50	1.97	1.91	1%台
連結ベース	3.10	3.11	2.65	2.10	2.04	1%台